



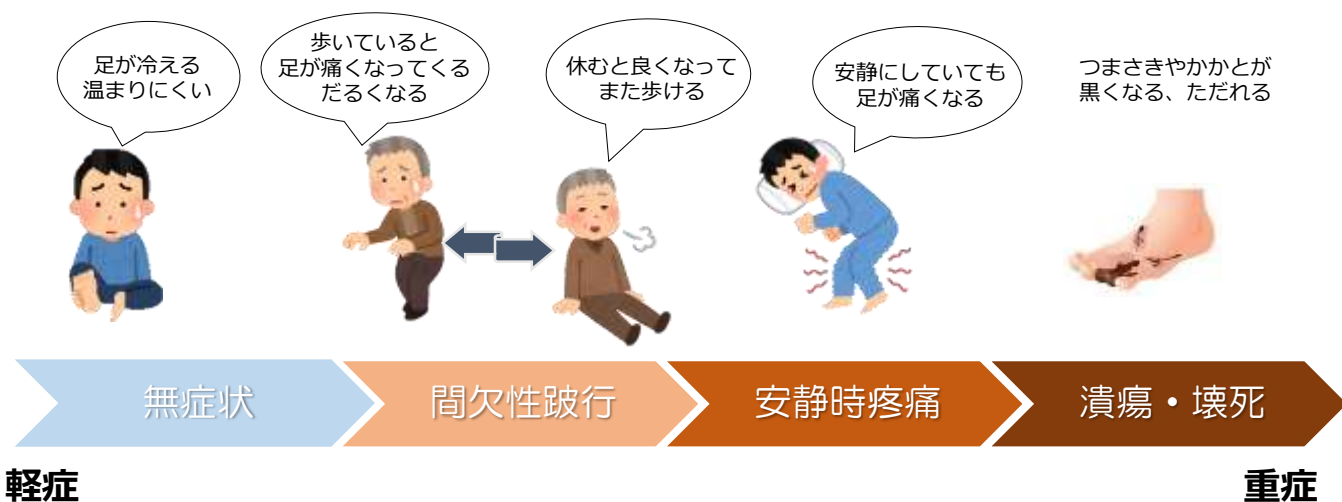
末梢動脈疾患（足の血流が悪い病気） の疑いがある患者さんへ

足の血の巡りが悪い病気とは

- ★ 動脈が狭くなることで、足の血流が低下している状態です
→動脈硬化によるものがほとんどで、下肢閉塞性動脈硬化症ともいわれます
- ★ 血流が不十分なことで冷えや痛みなどの症状がみられます
- ★ 喫煙、高血圧、コレステロール、糖尿病が悪化の原因となります
- ★ 足だけでなく、脳や心臓の血管、大動脈にも病変がみられることがあります

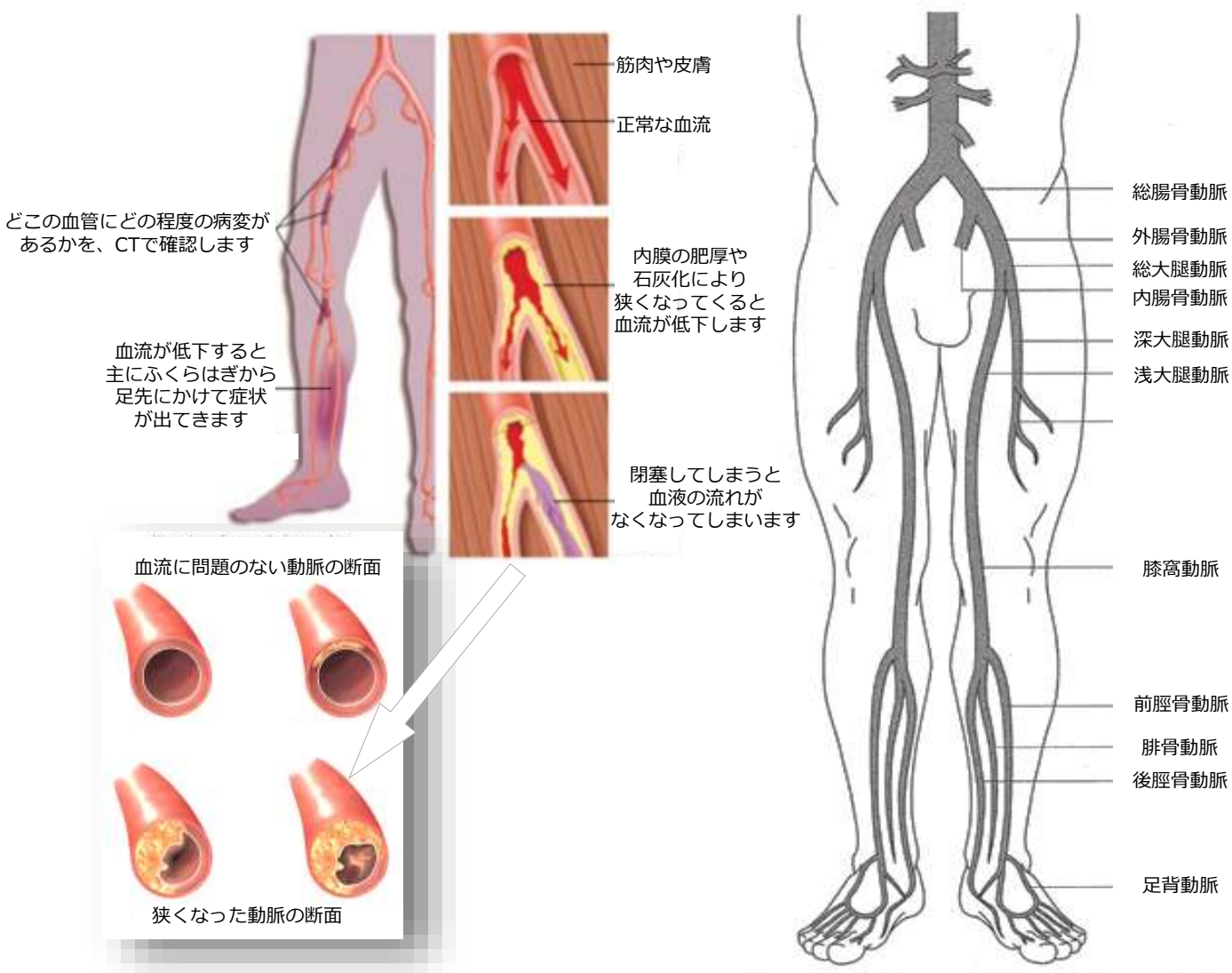
よくみられる症状は？

- ① ふくらはぎ～つまさきが冷たい、温まりにくい
- ② 右足と左足で温かさが違う
- ③ しばらく歩くと足が張ってくる、疲れやすい、だるくなる、痛くなる、痺れる
(少し休むとまた歩けるようになるが、休み休みでないと歩けない)
- ④ 歩かずにじっとしていても足が冷たくて痛みがある
- ⑤ 足の創がなかなか治りにくい、指先や足の色が悪い（紫～黒）



治療をしないと、どんどん悪くなってしまいます
潰瘍になったり壊死してしまうと、足を切断しなければなりません
悪くなる前に治療をすることが重要です

下肢の血管と動脈硬化



日常では次のことを意識しましょう

- 禁煙**の徹底・・・禁煙できない限り治療を行えません!!禁煙は治療の絶対条件です
- 血圧**の管理・・・塩分を控えるように心がけましょう
- 血糖**の管理・・・食べる量や糖分に気を付けましょう
- コレステロール**の管理・・・脂肪分の多いものを摂りすぎないようにしましょう
- 運動療法**・・・痛くなってから少し我慢して長く歩く→歩行距離の増加を図ります
- 内服**を忘れないようにしましょう・・・血液をサラサラにする薬などを継続します

検査と治療の流れ

簡単な問診と造影剤使用承諾書の説明・記入の後に検査となります
「痛い」「苦しい」検査はありません（痛いのは採血等で針を刺すときくらいです）

- ✓ **ABI**
…腕と足の血圧を調べます。足の血流が悪いと数値が低くなります
- ✓ **採血検査**
…貧血や炎症、腎臓や肝臓、コレステロール、血糖などさまざまな項目を調べます
- ✓ **心電図**
…不整脈がないか調べます
- ✓ **レントゲン**
…肺や心臓に大きな問題がないか調べます
- ✓ **造影CT**
…どこの血管がどの程度狭くなっているか、閉塞しているかどうかなどを調べます
診断と治療のためにとっても重要な検査ですが、腎臓が悪い患者さんや高度のアレルギーのある患者さんは造影剤を使用できません



すべての検査結果が出るまで、1, 2時間かかる見込みです

※検査結果や今後の治療方針などをご説明しますので、できるだけご親族と一緒に受診されることが望ましいです

症状や検査の結果が**軽症**な場合（あるいは**手術が困難**な場合）

- ✓ 血液をサラサラにする薬、血管を拡げる薬、コレステロールの薬などを処方します
- ✓ 普段の生活で気を付けること、運動、禁煙、食事の指導をします
- ✓ 1~3か月毎に定期的に検査をしながらみていきます

手術が必要な場合

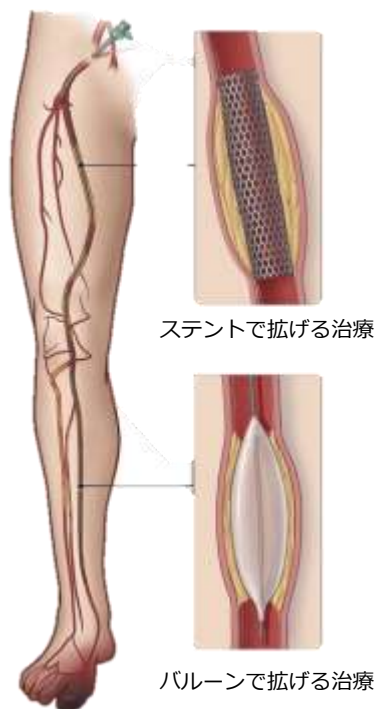
- ✓ 局所麻酔でカテーテルによる治療
- ✓ 全身麻酔でバイパスの手術
- ✓ キズや潰瘍の治療、切断など

※手術の日程や内容を順次決めていきます

手術による治療が必要な場合

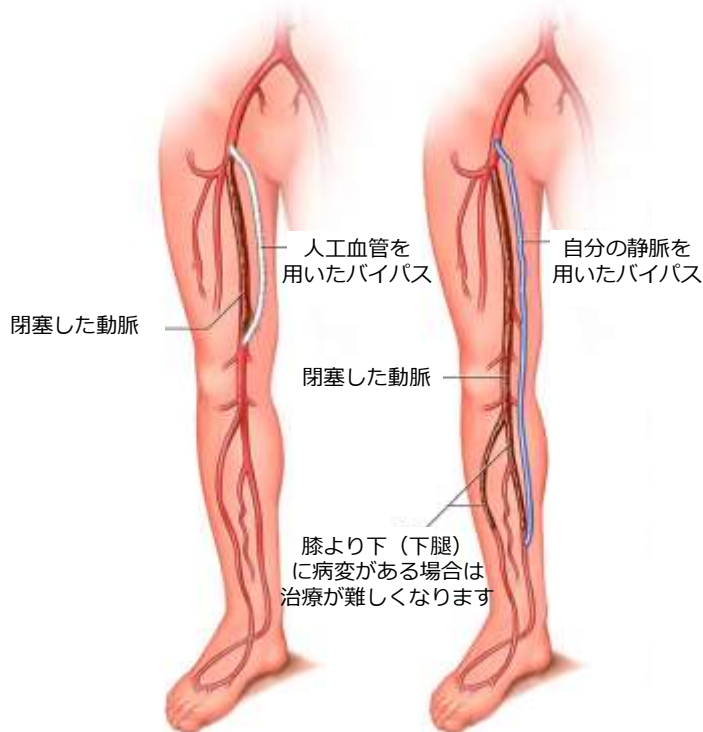
内服薬や運動療法だけでは改善が期待されない場合や、症状が強くなってきた場合、既に重症の場合には手術が検討されます

血流を改善させるための手術方法はいくつかあり、全身状態や病変の場所、程度によって最適な治療方法を選択します



血管内治療

手術は局所麻酔で行い、1,2時間くらいです
およそ3~5日の入院になります



バイパス手術

手術は基本的に全身麻酔で行い、2~5時間くらいです
およそ10~20日間の入院になります
(創部の状態や併存疾患にもよります)

- ★血管の状態だけでなく、全身の状態（心肺機能、腎機能、活動性、認知機能など）を評価し、手術の内容や時期を決めていきます
- ★超音波検査やMRI検査、追加の採血検査などが行われることがあります
- ★血管内治療とバイパス手術を組み合わせる治療（ハイブリッド治療）も行います
- ★壊死部がある場合には、拡大や感染を防ぐために、切断術を要することがあります